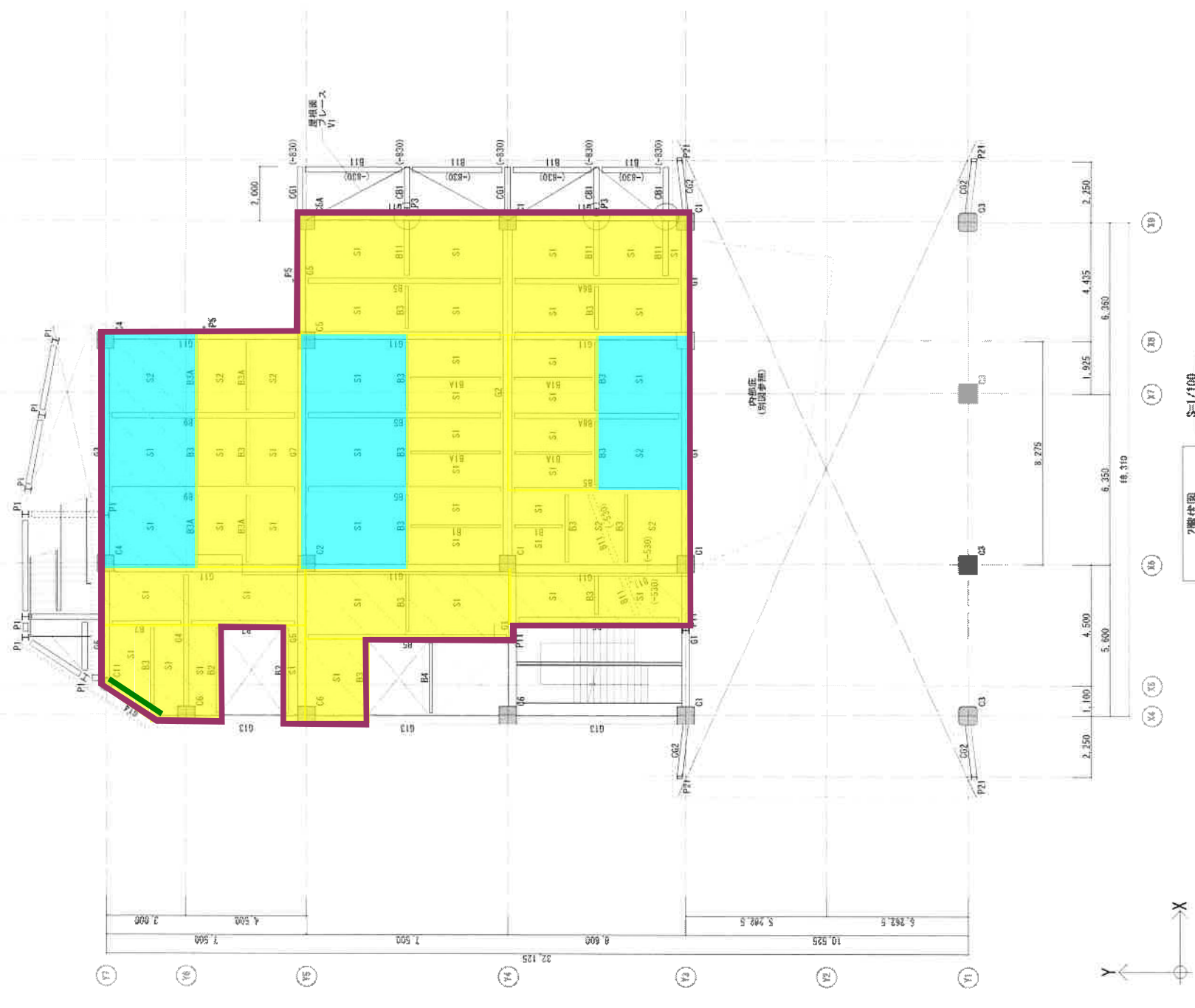


- 凡例
- N-DP
 - t=0.8
 - t=1.0
 - t=1.2
 - t=1.4
 - t=1.6
 - 現場切断

- コン止め
- h=150
 - h=180
 - h=200



- 特記なき限り 下記による。
1. 本図は、見下し図とする。
 2. 寸 印は、棟軸線を示す。
 3. 梁支間は20~200とする。
 4. (数字) は、おしりの梁支間距離を示す。
 5. スラブ支間は20~200とする。
 6. □印は、20~20を示す。
 - 7.

- 凡例
- N-DP
 - t=0.8
 - t=1.0
 - t=1.2
 - t=1.4
 - t=1.6
 - 現場切筋

- コン止め
- h=150
 - h=180
 - h=200

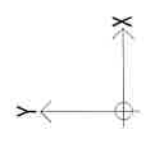


特記なき限り 下記による。
 1. 本図は、見下付図とする。
 2. 枠 印は、換気機を示す。
 3. 梁支端はDL-2印とする。
 4. (欄字) は、梁からの梁頭切筋位置を示す。
 5. スラブ天端はDL-1印とする。
 6. [] 印は、DL-20を示す。



特記なき限り 下記による。
 1. 本図は、見下付図とする。
 2. 枠 印は、換気機を示す。
 3. 梁支端はDL-20印とする。
 4. (欄字) は、梁からの梁頭切筋位置を示す。
 5. スラブ天端はDL-1印とする。
 6. [] 印は、DL-20を示す。

- 凡例
- N-DP
 - t=0.8
 - t=1.0
 - t=1.2
 - t=1.4
 - t=1.6
 - 現場切断
- コン止め
- h=150
 - h=180
 - h=200



5階～14階状況図 S=1/100

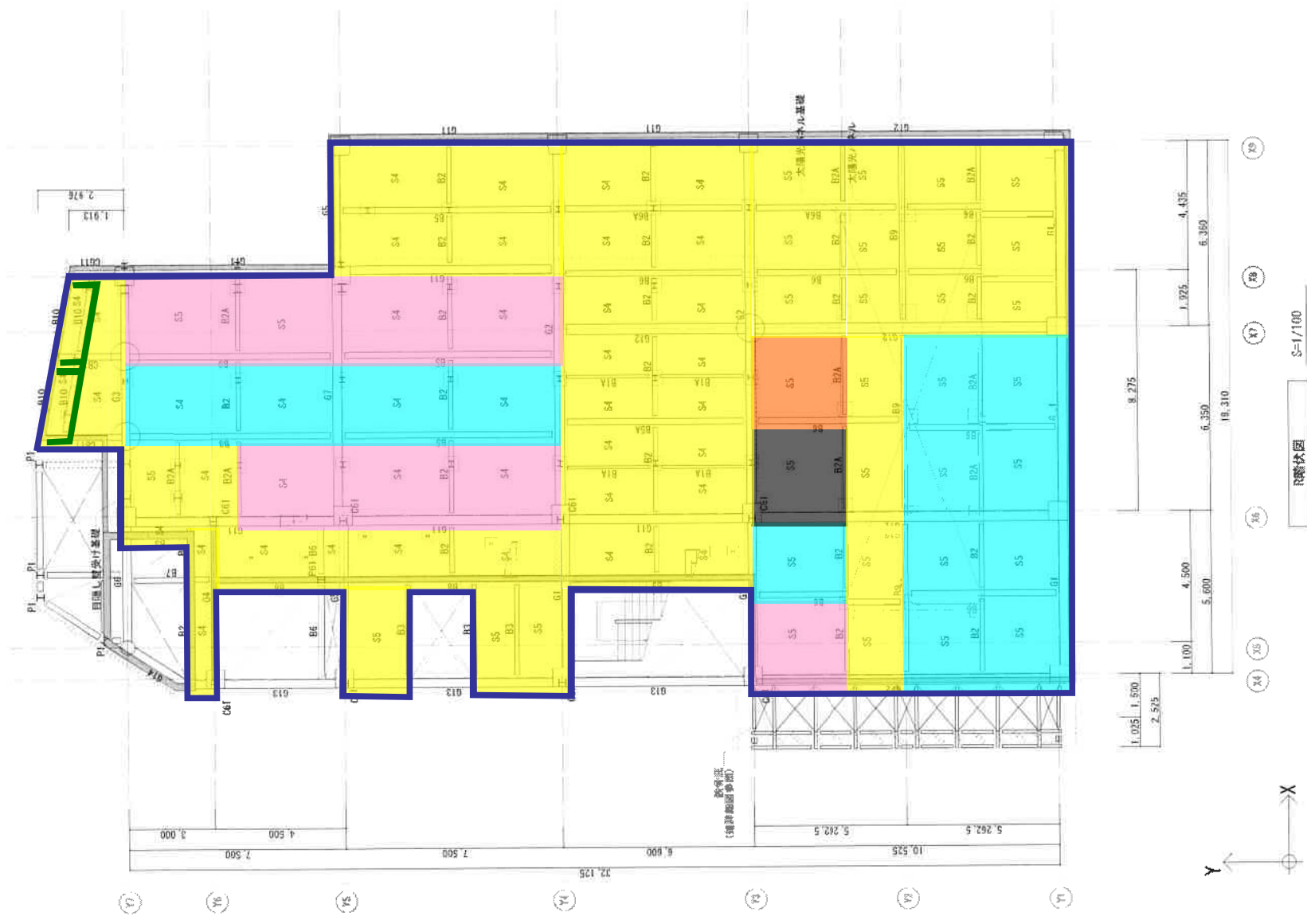
- 特記なき限り 下図による。
1. 木図は、真下け図とする。
 2. 付 印は、省略線を示す。
 3. 梁天端はt=200とする。
 4. (数字) は、凡からの梁天端位置を示す。
 5. スラブ天端はt=40とする。
 6. (数字) 印は、凡への示す。
 7. スラブ厚さは、t=180とする。

備考	管理棟設計 第 11A10103 号	管理棟設計 一級建築士 藤原 宏 登録第 152538号	承認 渡邊	調査 木皿	設計 大村・伊藤	設計年月 H25.07	全 業 218	工事名 仙台市役所上杉分庁舎災害復旧改築工事 図面名称 5～14階フラットデッキ範囲図	No S-47	Scale A 1版 1/40 A 3版 1/80
----	-----------------------	---------------------------------------	----------	----------	-------------	----------------	------------	--	------------	---------------------------------

追加図面

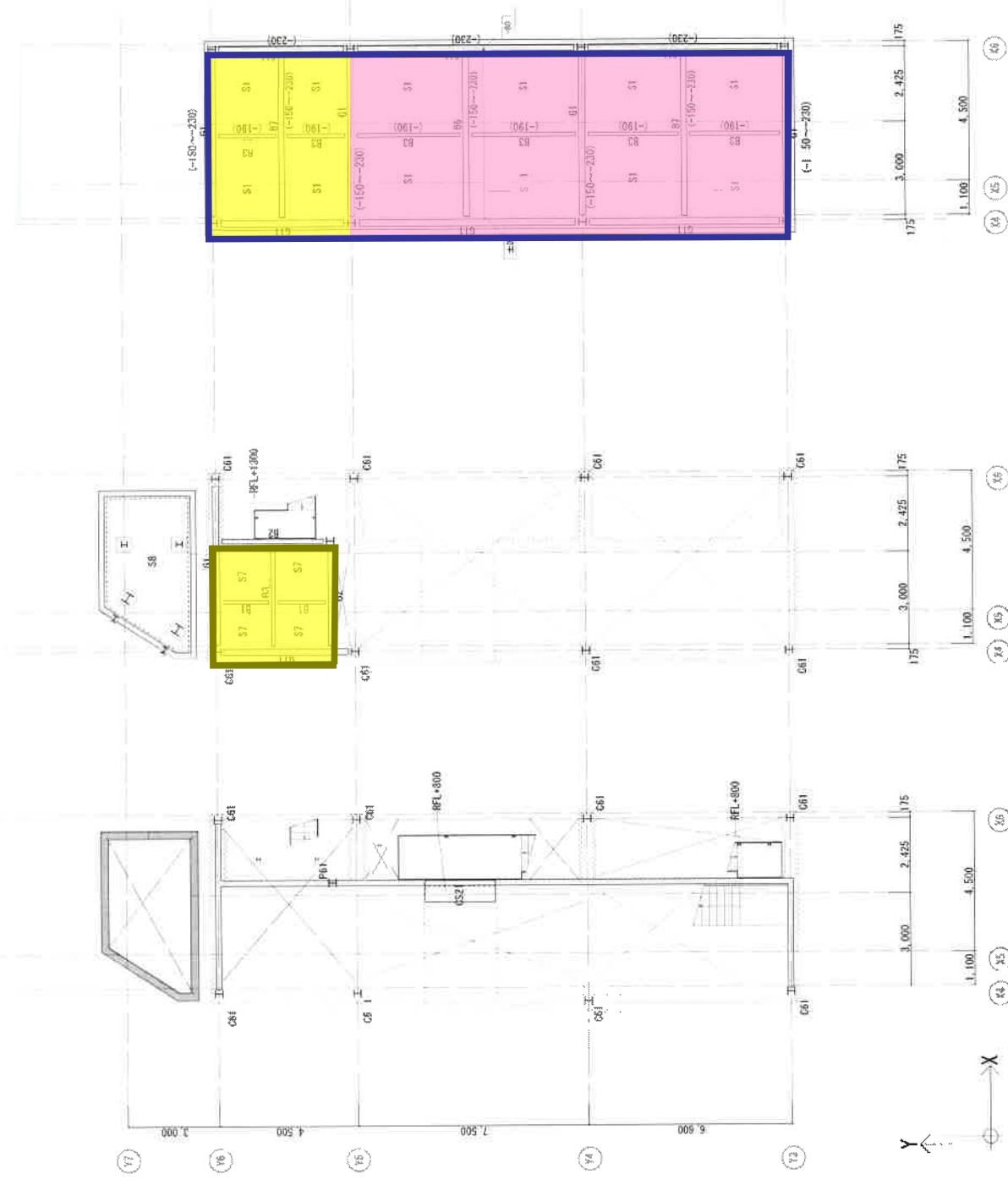
- 凡例
- N-DP
 - t=0.8
 - t=1.0
 - t=1.2
 - t=1.4
 - t=1.6
 - 現場切断

- コン止め
- h=150
 - h=180
 - h=200



R階状況図 S=1/100

- 特記なき限り 下記による。
- 本図は、見下付図とする。
 - 寸 印は、集約線を示す。
 - スラブ厚さは、t=100とする。



R階+800状況図 S=1/100

- 特記なき限り 下記による。
- 本図は、見下付図とする。
 - 寸 印は、集約線を示す。
 - 梁天端はRFL+800とする。
 - スラブ天端はRFL+800とする。
 - スラブ厚さは、t=100とする。

R階+1,400状況図 S=1/100

- 特記なき限り 下記による。
- 本図は、見下付図とする。
 - 寸 印は、集約線を示す。
 - 梁天端はRFL+1200とする。
 - スラブ天端はRFL+1400とする。
 - スラブ厚さは、t=200とする。

R階+200状況図 S=1/100

- 特記なき限り 下記による。
- 本図は、見下付図とする。
 - 梁天端はRFL+4,700とする。
 - 寸 印は、集約線を示す。
 - 梁天端はRFL+100とする。
 - スラブ天端はRFL+100とする。
 - スラブ厚さは、RFLからのスラブ高レベルを示す。